

電子制御装置の不具合事例

自動車間距離制御機能(ACC)不具合による急減速事案

事例1

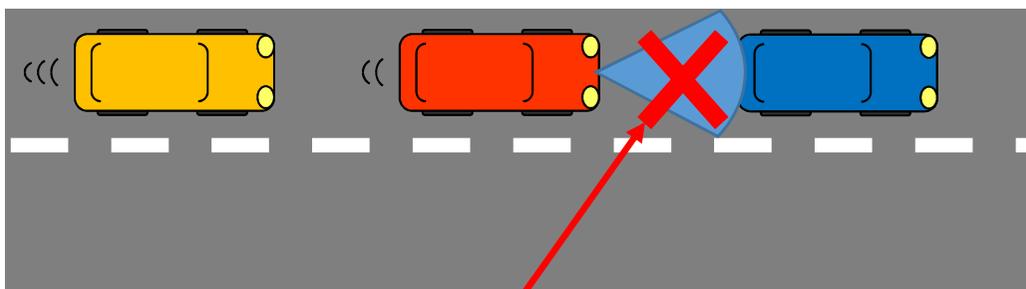
自動車の種類: 乗用自動車

走行距離: 約1,300km

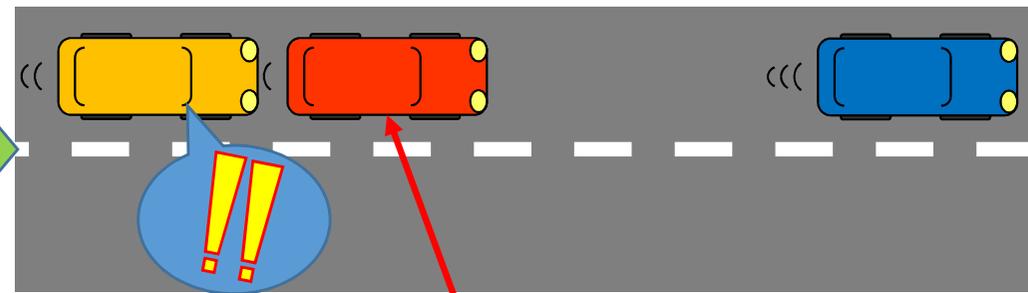
情報元: ユーザー情報

不具合の概要: (本情報はユーザーからの申告による)

- 自動車間距離制御機能(ACC)を使用し、前方車両との車間を保ちながら高速道路を走行中、突然機能が停止し、同時に強い回生ブレーキが作動して急減速する不具合が頻発。
- ディーラーに持ち込んだところ、スキャンツールにより、前方監視用のカメラの偏心及びカメラ周辺のヒーターの断線を確認。



- 自動車間距離制御装置(ACC)が突然機能停止



- さらに、強い回生ブレーキ作動

スキャンツールの診断により

- ・ 前方監視用のカメラが偏心
- ・ カメラ周辺のヒーターが断線

を確認

ABS作動不十分による物損事故

事例8

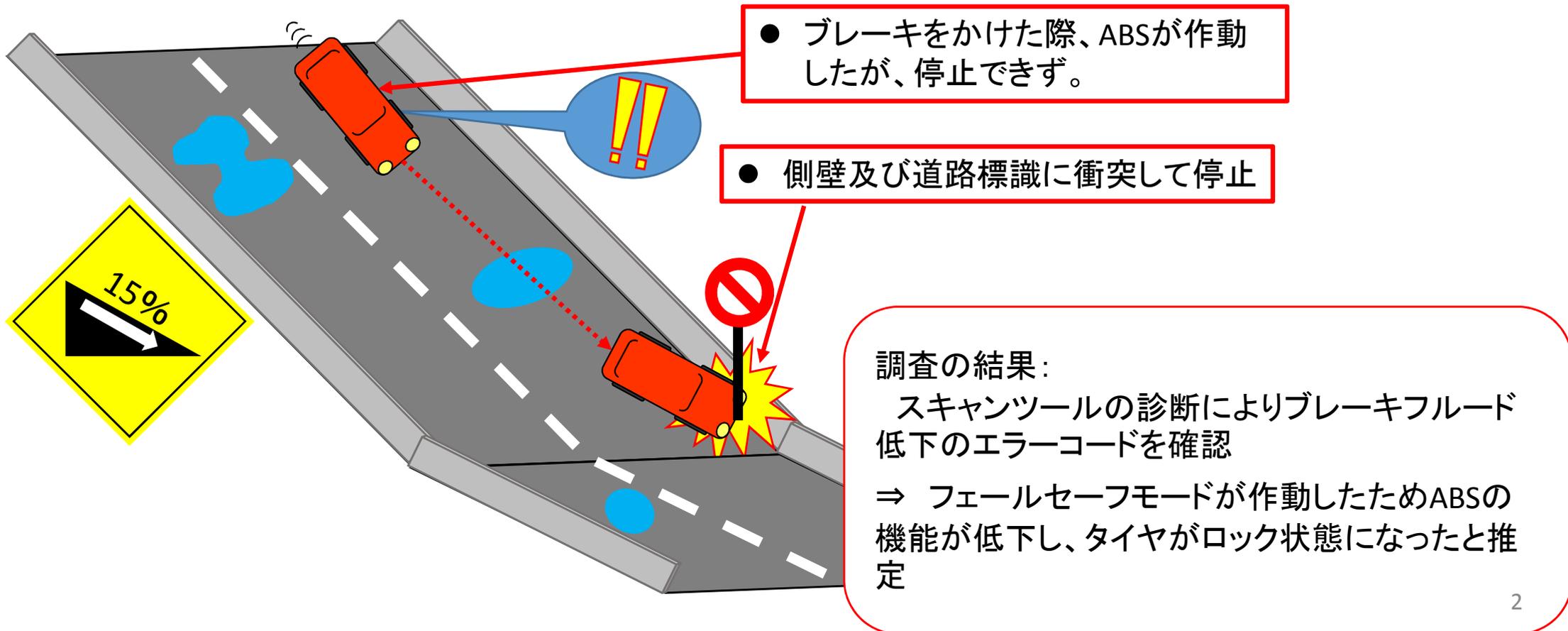
自動車の種類: 特種用途自動車

走行距離: 約124,000km

情報元: メーカー情報

不具合の概要:

- 20km/hで走行中、ブレーキをかけABSが作動したが、減速しなかったため、側壁及び道路標識に衝突した。
- 調査の結果、ABSに不具合はなかったが、ブレーキフルード低下のエラーコードの記録を確認。
- これらのことから、急傾斜の雨天路面において、ABSが作動したがブレーキフルード不足により、フェールセーフモードとなり、ABSの効きが悪くなったことからタイヤがロック状態になったと推定。



電動パワーステアリング不具合による自損事故

事例17

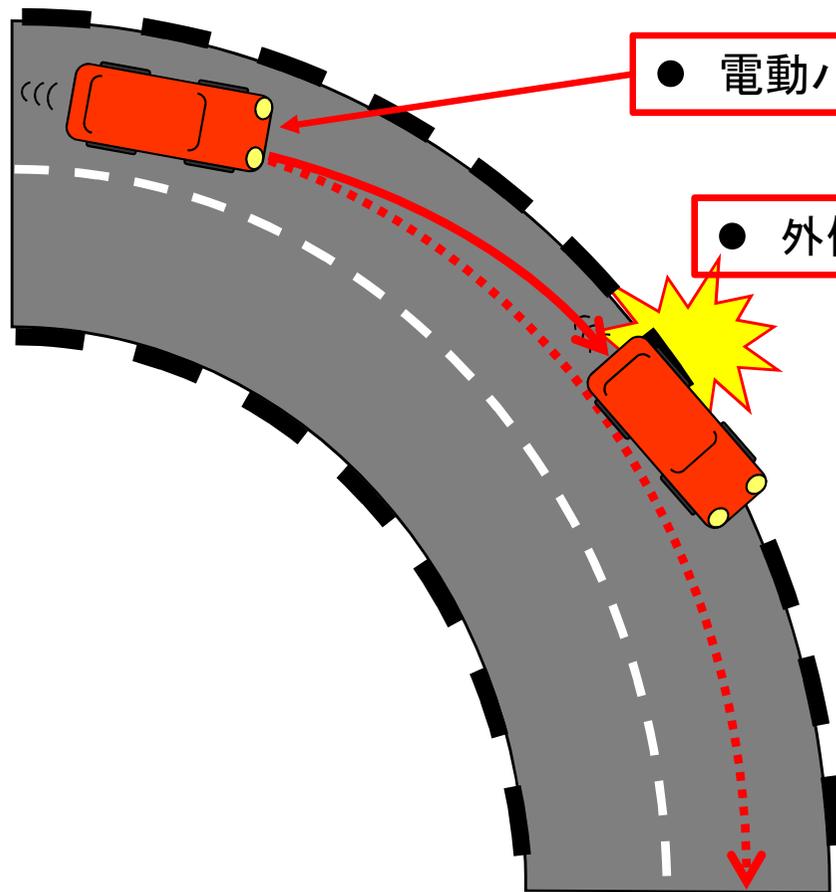
自動車の種類: 乗用自動車

走行距離: 約30,000km

情報元: メーカー情報

不具合の概要:

- 一般道走行中、EPS(電動パワーステアリング)のアシストが効かなくなり、外側に膨らんで縁石に乗り上げ左後輪を損傷した。
- 調査の結果、バッテリーの劣化が認められた。
- このことから、電圧低下によりEPSアシストが停止したと推定。



● 電動パワーステアリングのアシストが停止

● 外側に膨らみ縁石に乗り上げ

調査の結果:

バッテリーの劣化を確認

⇒ 電圧の低下によりEPSアシストが低下したと推定

ブレーキ引き摺りによる出火事案

事例7

自動車の種類: 乗合自動車

走行距離: 約1,231,500km

情報元: メーカー情報

不具合の概要:

- 走行中、ブレーキに違和感があったため、停止して確認したところ、右後輪付近から出火していた。
- 調査の結果、スプリングブレーキ系統からのエア漏れ及びエア圧警報ランプ、ブザーのハーネスの断線を確認。
- これらのことから、エア漏れによりブレーキを引き摺り出火に至ったものと推定。また、ハーネスが断線し、警報が作動しなかったことから、運転手が気づくことができなかった。

